岐阜県山県市遠隔地研修
報告書

本研修の目指すもの

本研修は、山県市中級者保育者を対象として、これまでの保育を振り返り、今後の保育実践に活かすことを目標としたものでした。特に今回の研修のテーマは、『「ねばならない」、「べきである」からの脱却』とし、ここまでやってきた保育が自動化され、呪縛していることから「問い直し」を行うことで、保育を始めたフレッシュな気持ちに戻り、より良い実践を行っていくことを目標としました。

本来保育者は、子どもの自発性を大事にすることが実践として重要ではありますが、経過とともに、「保育者として何かを教えなければならない」という固定概念が染みつき、研鑽しないようになります。そこで本研修では、自身の何が自身の行動にブレーキをかけているのか、自身や他者から学び直していく作業を行い、ゼロから考えなおすことに重点を置き、実施しました。

最終的には、保育の原点である「おもしろさ」を取り戻し、山県市を支える素晴らしい保育者への変容を起こすことを、本研修の目標としました。

講師ご紹介

NPO法人 もあなキッズ自然楽校
理事長　関山　隆一

1971年神奈川県生。1998年ニュージーランドに渡り国立公園にて現地ガイドとして働く。その後パタゴニア日本支社を経由し、2004年に帰国後アウトドアオペレーターの事業を立ち上げ、2007年NPOもあなキッズ自然楽校設立。2009年に森のようちえんスタイルの保育園を開園。0歳児から小学生までの自然体験活動を実践している。

NPO法人森ようちえん全国ネットワーク連盟　副理事長
東京都市大学　人間科学部児童学科　非常勤講師

もあなキッズ自然楽校について

　横浜市を中心に自然体験活動を通じて人と社会を作り出すNPO法人です。
子どもたちを中心とした活動を通して、社会性を持ち創意工夫しながら主体的に行動することができる「未来を創る」子どもたちを育成します。
健全な子どもたちの育成と、自然環境や社会問題に対する活動を通じて、持続可能な社会を築き上げていくための社会貢献事業を目的としています。

現在、横浜市都筑区内で4施設(横浜保育室(0~2歳児)、認可保育所(0~5歳児)、認可外保育施設(3~5歳児)、放課後児童クラブ(学童))、西湘・湘南エリアで3施設(小規模認可保育所(0~2歳児)2施設、企業主導型保育施設(0~5歳児))を運営しています。
また、小学生をメインターゲットとした、自然体験活動の企画・運営も行なっています。

NPO法人もあなキッズ自然楽校
HP
http://moanakids.org/
Facebook
https://facebook.com/moanakids
お問合せ
info@moanakids.org

2019年度　遠隔地研修

参加者

岐阜県山県市の公立保育園保育士：5名（実習研修の参加は4名）

日程

①事前研修　2019年7月5日（金）
　　場所：岐阜県山県市役所内
②実習研修　2019年10月7日（月）～11日（金）
　　場所：横浜（もあな保育園・めーぷるキッズ・めーぷる保育園）
③事後研修　2019年10月25日（金）
　　場所：山県市役所内

実施内容

① 事前研修（山県市役所内）

横浜市都筑区に所在するNPO法人もあなキッズ自然楽校が運営する森のようちえんスタイルの３保育施設《もあな保育園（0～2歳児対象）、めーぷる保育園（0～2歳児対象）、めーぷるキッズ（3～5歳児対象）》の実践の紹介と自然保育の善さ及び自然保育を活かした保育の講義約2時間を行いました。

また、現在の保育者の心理を検証し、今後質向上につなげる上で実践研究の一環として、ヴィジュアル・ナラティブアプローチという手法を使用し、1.働きはじめ、2.現在、3.未来という時制におけるイメージを描いて発表（イメージドローイングメソッド）していただくことで、保育者の内なる心理の表出し、相互的な話し合いの場を設けました。概ねの傾向としては、働きはじめは個人の保育者としての苦悩、現在は保育園内での葛藤、そして未来は、良い保育園像や個人を描いていました。このことから対象者5名は保育の質の向上に対する意欲は、表現の仕方は違うにしても、自身の保育の成長と善さに対して希求する考えにあることがわかりました。よって、今後は現在の保育実践の葛藤とより良い保育に向かうという思いの異差を埋めていく作業が必要であることがわかりました。

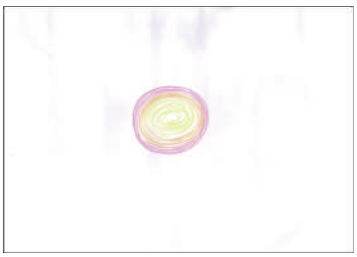
②　実習研修（横浜/もあな保育園・めーぷるキッズ・めーぷる保育園）

当日参加4名（5園中4園の代表者5年目以内）が現在担当しているクラスと同じクラスの園児に対して保育体験し、1日保育従事をしてもらいました。月曜日から金曜日までのどっぷりと森のようちえんの保育を体験していただきました。

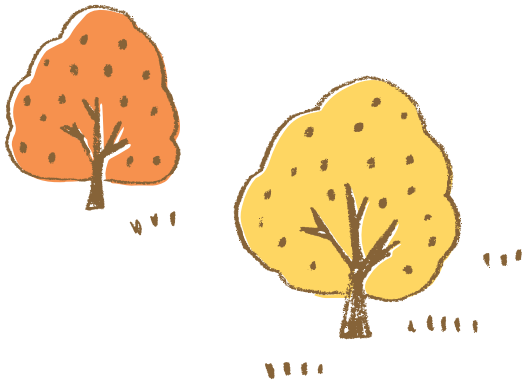
③　事後研修（山県市役所内）

実習前と実習後の際の自身の気持ちをイメージしたものを絵にしていただき、振り返りとして発表してもらいました。そこで質的な心理を抽出し、心の動きを解析しました。
その結果、参加した全員から、実践前と実践後では、前向きな心の変化が見られました。
またこの手法を使ってリフレクションをして、自園に戻った際にできること（スモールステップ）についてもディスカッションを行い、今回の経験を自園に活かすことを各者が持つことができました。

※写真上が研修前、下が研修後



2020年度　遠隔地研修



参加者

岐阜県山県市の公立保育園保育士:7名

日程

Day 1	2020年11月11日（水）
9:00	morinos集合＆スケージュール確認と講師紹介
9:15	**関山ワークショップ　研修への思い** Image Drawing Methodを使用した心理ワーク オープンダイアログ形式による対話とディスカッション
11:30	昼食
12:30	関市へ異動
13:00	関市武芸川保育園　野外保育活動視察体験
16:00	関市保育者と山県市保育者の野外保育に関する意見交換会
17:00	終了

Day 2	2020年11月12日（木）
9:00	morinos集合 morinosチームと演習林に出かけ、火おこし＆ホットサンド作りワーク ロープワークとロープを使用した遊びに関してのワーク
15:00	それぞれに好きなことをして遊ぶ (ハイキング/薪割/木工/ドラム缶風呂)
17:00	終了

Day 3	2020年11月13日（金）
9:00	morinos 集合　午前中　五感をつかったゲーム
11:00	昼食作り
12:00	昼食
13:00	リスクマネージメント講習
15:00	振り返り　IDMを使用した心理ワーク 3日間の振り返り
17:00	終了

DAY 1

はじめに研修への想いを全員で共有

参加者の表情も徐々にほぐれてくる

関市の武芸川保育園の子ども達と

関市の保育者と野外保育についての意見交換

DAY 2

morinosチームと共に演習林にて様々なワークを行う

火おこしには燃料となる枝や松ぼっくりを集めるところから

出来上がったホットサンドに笑顔

ロープを使用した遊びに関するワーク

薪割、木工、ドラム缶風呂などを体験

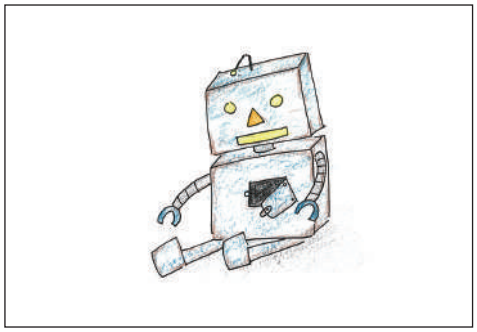
DAY 3

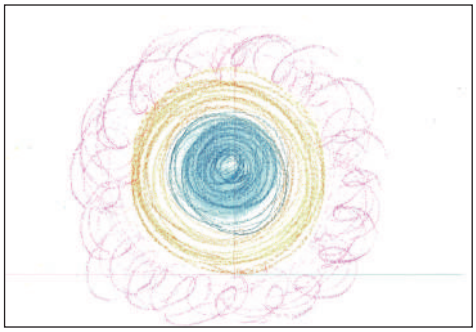
ネイチャーゲームで自然から学ぶ

最終日の昼食づくり

■ヴィジュアル・ナラティブアプローチによる参加者の心理的変化

※写真上が研修前、下が研修後





研修を終えて

この度、行政と協働し保育の研修を行ったことは自身にとっても初めてのことであり、大きな試みでした。また、今回の研修を受けた保育者さんにとっても通常の講座を受講するだけの一方的な研修ではなく、“自然を活用した保育”を学ぶため、自身も“体験しながら学ぶ”という新しい研修スタイルに向かっていくことには、大きなチャレンジだったのかもしれません。特にこの研修の中では、自分の気持ちを他者に伝えることや、今までにやったことのない未知の経験に挑むということばかりで、心身の疲労もあったかと思います。しかし、研修の中では、それぞれが未知の世界を「面白がって」学んでいる姿勢がみえ、研修後のみなさんの表情は明るく、最初に対面した時とは明らかな変化が見られました、その表情を見た私の表情も緩み、感極まるほど嬉しい思いでした。左記のことは、この研修を通して参加したみなさんと同じ成員になったという気持ちで満ち溢れています。この要因には、研修に参加したすべての人が、それは新人であっても、中堅であっても、長年自身の意見を表に出さなかった人も、本質的な対話を重ねていく上で心が開き、一人ひとりが研修に参加し、繋がり、コミュニティーも豊かになっていったことで、個人も成長し変容していった。すなわち、個人と保育者コミュニティーの双方が変容していったのだと思っています。結果、どのような環境にあっても「すべての人は善くなろうとしている」という「善さの構造（1978）」という著を出された村井実先生の言葉そのものを、参加したすべての人が体感できたと確信しており、本当に素晴らしい研修となりました。

最後に、今回の研修は講師である私の力ではなく、この研修に参加してくれた保育者さん、そして研修をサポートいただいたmorinosのみなさん、さらに関市武芸川保育園の保育士さんや関市の園長先生、写真や映像を撮っていただいたカワキタフィルムの佐藤さんなど、本当に多くの人々の協力をいただいたことが、成功の要因であったと思っています。これからも山県市の保育者さんの中にある、「善くなろう」という思いが開花し、より良い実践コミュニティーが拡張していくことを心より願っております。

この研修に関わっていただいたすべての人へ、感謝申し上げます。

NPO法人 もあなキッズ自然楽校
理事長　関山　隆一

2020年度の研修の様子

2020年度の遠隔地研修の様子は、
morinosのYoutubeチャンネルにてご覧いただけます。

■morinosチャンネル
https://www.youtube.com/c/morinos/featured

morinosについて

morinosは、すべての人と森をつなぐ「森の入り口」です。
ひとりでも多くの人に、森の楽しさを知ってもらうために
今までにない森のプログラムをチャレンジ＆実験し続け
幼児から大人まで、ありとあらゆる教育機関に森の体験を提供し続け
幅広い視野で森を活用できる　森の指導者を育成し続けます。

完成したモノや空間を、来訪者に提供するのではなく、
来訪者と一緒に、リアルな現場で、つながりと学びを深めながら
森を楽しむ心地よい「森の巣(morinos)」のような空間をつくり続けます。

そしてそのプロセスを体験をした人が、いつしか巣立ち
各地で新たな「巣づくり」を始めることを願っています。

決してあせらず、森と人をじっくりと観察しながら「森じかん」で成長していく。
まるで生きもののように、変化＆成長し続けるmorinosは
森から生まれる持続可能なコミュニティです。

※morinosホームページより

morinos（岐阜県立森林文化アカデミー内）
HP
https://morinos.net/
Facebook
https://www.facebook.com/morinos.gifu/
お問合せ
https://morinos.net/contact/

岐阜県遠隔地研修報告書

2021年1月18日発行
発行：岐阜県山県市
制作・編集：NPO法人 もあなキッズ自然楽校
写真：カワキタフィルムワークス
印刷：株式会社 大川印刷